

検討会3回目アンケート結果

問1.ユースケースA,B,C,Fのうち、最も人材育成の取組時間を短縮できると考えられるものはどれですか。

#	ユースケース案	回答件数	選んだ理由
A	生成AIを活用したアセスメント観点の提示	4	ケース対応の際に、ユースケースAを使用することで、 指導する立場の職員の負担が多少軽減される と考えたため。
			ベテランの育成担当職員に頼ることなく、 独力でケース対応をするための手がかりがつかめ 、他の職員の時間が確保されると考えたため。
			質問する観点のアイデア出しについて、支援関係機関に対しても有効だが、欲しい情報をすべて持っているとは限らない。対象者に対して質問する場合についても有効であり、 人材育成の時間短縮（聞き取りの準備） が図られると考えたため。
			支援関係機関からの相談があった際に一度預かりとし、ケース共有を課内で共有する際の情報量が不足すると、再度状況確認をしなければならない が、その部分が短縮されると考えたため。
B	生成AIを活用した支援方針の提示	2	* 理由の記載なし
F	シナリオに沿ったアセスメントのロールプレイ	2	人材育成のために適した事例を選び、レクチャーする時間を短縮できる と考えたため。
			実践以外に相談者とやりとりを経験できるところがないため、実践に近いかたちを体験することで、現状よりは育成時間を短縮できるのではないか と考えたため。
C	活用できる社会資源・制度の検索	0	-

検討会3回目アンケート結果

問2.ユースケースA,B,C,Fのうち、**二番目**に人材育成の取組時間を短縮できると考えられるものはどれですか。

#	ユースケース案	回答件数	選んだ理由
A	生成AIを活用したアセスメント観点の提示	4	支援関係機関から相談を受けた事例を所内で検討する際に、聞き漏れが無くなり、支援関係機関に聞き直す機会が減ることで、速やかに所内で検討できるようになると考えたため。
			AIの回答を聞く前に、自分で回答を考えたうえで答え合わせを行うことで、自分で考える時間をもつことができるの、現状より育成が進むのではないかと考えたため。
F	シナリオに沿ったアセスメントのロールプレイ	2	質問する観点について、生成AIで表示されることで、先輩指導員から新人職員へ指導する場面において時間の削減ができると考えたため。
			指導役に相談や同行・同席をしつつケース対応を学んでいくが、2人の時間を調整する必要があるため、空いている時間にロールプレイで練習することで時間が効果的に活用できると考えたため。
B	生成AIを活用した支援方針の提示	1	あくまでサポートとしての機能ではあるが、会議等で支援方針を決める上で時間は短縮できると考えたから。
C	活用できる社会資源・制度の検索	1	ある程度の社会資源の提示があるため、その社会資源を利用する際の具体例を周りの職員に確認していることからお互いに割く時間が減ると考えたから。

検討会3回目アンケート結果

問3.検討会への感想。

#	カテゴライズ	アンケート結果
1	意見共有での 気づき・学び	具体的に形となってきているシステムに対し、意見をする機会でもあり、改めて検討会の意義や責任を感じる回であった。
2		成功体験を積むことで成長すると考えているが、一步踏み出すための勇気が与えられるようなシステムになると良いと、漠然と考えている。
3		他の支援関係機関のお話や視点を伺うことができ、勉強になった。
4		重層的支援体制整備事業のデジタル化を図っていくことの難しさを毎回感じている。ただ、自分が業務で携わっていることの課題や難しさを考えるきっかけにもなっている。
5		毎回他の参加者のかたの意見からの気づきが多く、学びの場となっている。
6	検討会の雰囲気	検討会に参加させていただき、進行や雰囲気づくり、まとめ方など、毎回とても素晴らしいと感じている。こうした力はAIには代えがたいもので、重層的支援会議など様々な意見をまとめる場面で大切だと改めて思った。今後も参加しながら、現場の意見をお伝えしつつ学ばせていただきたいと感じた。
7	改善点・ご要望	初心者向けの支援ツールとして、非常に有益なシステムであると感じた。ベテラン支援員の方から非常に貴重な意見が沢山ありとても参考となったが、システムはシンプルであった方が初心者には使いやすいと感じた。システムで100点を求めるのではなく、システムは相談・支援業務のツールであって、システムと関係者の両輪で支援プランが作成していくことが良いと感じた。
8		全体を通して勉強になる会であった。今回目指す人材育成は、職員を育成するための過程・工程を大事にするのか、若しくは正しいヒヤリング結果を達成するための手助けをするのかによって、システムの内容が異なってくると思うので、その前提は決めておいた方がよいと感じた。

検討会3回目アンケート結果

問4, AIを活用したソリューションについてご感想やアドバイスがあれば教えて下さい。

#	カテゴライズ	アンケート結果
1	課題・ご要望	どのユースケースについても素晴らしいものだと感じた。今後 1 つの機能に絞って完成をめざすのではなく、すべて使用できる形となると使える場面が広がるので、利用が広まる気がした。 すでに現時点でも十分使える部分もあると感じたので、絞ったらもったいないと感じた。
2		検討会の中でも意見として出していましたが、情報収集するための「ねらい」を表示されるとよい。「なぜ、この情報が必要なのか」などを端的にコメント表示されると、支援プラン作成にも非常に有効である と感じた。
3		AIができる多さに驚いたが、すべてをAIに任せてしまうと人材育成の面では少し心配も感じた。 AIを適切に活用するために、注意点を示すことも大切 だと感じた。
4		AIをどこまで信じ切れるかが課題 だと感じた。AIの回答であっても、やはり人の助言を信じたいと思ってしまう。同時に、 AIの回答が基本的に正しいとなったとき、人としての役割をどう置くかもまた課題 だと感じた。
5		答えではなく、考えるを広げるヒント出しをする ことが結果的にはAIに求められていることなのかもしれないと感じた。
6	感想	ロールプレイの機能が秀逸 であると感じた。